



## 肥後民家村

### 肥

後民家村には、昔ながらの古民家のたたずまいが四季

折々の草花と融和し、訪れる観光客の人たちに「癒し」と「感動」を与えています。そして、篠笛の音色もまたそのひとつ。

どこからか聞こえてくる笛の音。その音は、旧中原家蔵にある篠笛工房「山彦」から聞こえてきます。その主の高原さんは、3年ほど前に、小林美術館での篠笛コンサートをきっかけに、肥後民家村の魅力にひかれて篠笛工房を始められました。

高原さんは、日本全国を公演している劇団「わらび座」という民族芸能の団体に30年ほど所属していましたので、民舞等もされています。今年で、2回目の開催となった「新春コンサート 篠笛と民舞の夕べ」では、「笛吹き童子」「月の砂漠」「荒城の月」などの篠笛の演奏に加えて、「花笠音頭」

「百姓踊り」などの民舞など、ひとりで何役も兼ねて開催されました。「来ていただいたお客様から『感動した』というお言葉

葉をいただき、うれしい限りです」と、確かな手ごたえを感じ取っていらつしやるようです。

今年の5月には、高原さんが発起人となり「肥後篠笛愛好会」が設立されました。この愛好会は、県内各地の篠笛愛好家の方たちで組織されています。

「熊本県は、芸能や和太鼓笛の愛好者が多いところで、一人ひとりが、それぞれに努力し活動されていますが、後継者問題などで年々その数は、減少傾向にあります。一人ぼっちの笛吹きをなくして、みんなで上手になつていこう、仲間を増やしていこう、という思いで設立しました」。

笛職人



高原 正義 さん

「和水町には、13の地区に神楽が残っています。以前は、まだあったと聞きますが、これだけの神楽が残っている地域はありません」。神楽の話を熱心に話される高原さん。

「笛の音の聞こえる里づくりができたなら素敵だと思います。それが私の夢です。日本人が日本の文化を大切にす里づくりの手助けができればと思っています」と、語られたとき、まさに神楽が「笛の音の聞こえる里づくり」なのだと感じました。肥後民家村を拠点に、夢の実現が進んでいます。



#### 篠笛教室

毎週土曜日 午後3時から4時30分まで(初級)。

受講料(1回毎) 大人2,000円、小中学生1,500円

営業日 木曜日から日曜日

営業時間 午前10時から午後4時30分まで

問い合わせ先

090-700613213(高原まで)